



▲令和4年7月15日の大雨による土砂崩れ(岩出山地域)

### 土砂災害警戒区域を確認しましょう

山の斜面や渓流など土砂災害の被害を受ける恐れがある区域は、宮城県から、土砂災害警戒区域に指定されています。

現在、市内の554カ所が同区域に指定されています。事前に、指定されている区域を、県ウェブサイトや宮城県砂防総合情報システム、市ウェブサイトを確認しておきましょう。

6月は土砂災害防止月間です。これからの梅雨の時期は、土砂災害が頻発しやすく、集中豪雨や長雨に注意が必要です。気象庁の注意報・警報・土砂災害警戒情報や前兆現象に注意し、いつもと違うと感じた際は、早急に避難するようにしましょう。



▲県ウェブサイト

### 土砂災害警戒区域情報



▲宮城県砂防総合情報システム



▲市ウェブサイト

☎ 防災安全課危機防災担当 ☎23-5144

☎ 建設課道路維持担当 ☎23-8015

### 内閣府防災情報のページ

で詳しい情報が確認できます

▶内閣府防災情報のページ

[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30\\_hinankankoku\\_guideline/index.html](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html)



- **避難**とは、単に避難所へ移動することではなく、「難」を「避」ける、次の行動です。
- ①指定避難所・避難場所への移動
- ②安全な場所への移動(公園、親戚や友人の家など)
- ③自宅の2階や近隣の高い建物などへの移動
- ④安全な場所での待機

避難所の生活
▶定期的に体温を測るなど、体調に気を付ける
▶手洗い、うがい、咳エチケットを行う
▶十分な換気と、スペースを確保する
避難所で必要なもの
▶手洗い用せっけん、アルコール消毒液など
▶マスク(ないときは、タオルや手拭いなど)
▶体温計
▶スリッパ(共有スペース用)

### 防災行政無線の放送内容を確認できます

#### ■市ウェブサイト



#### ■防災行政無線テレホンサービス

☎ 0120-600-054 (無料)

※「無線ご用」と覚えてください。

#### ■メール配信サービス

以下のアドレスに空メールを送信し、画面の指示に従って登録してください。

✉ t-osaki@sg-p.jp

※放送内容のほか、震度情報も入手できます。



▲令和4年7月15日の大雨による落橋(岩出山地域)



# 「いつか」のために「いま」備えましょう

☎ 防災安全課危機防災担当 ☎23-5144

### 大崎市総合防災訓練、緊急速報メール訓練を実施します

#### ■総合防災訓練

日時 6月10日(土) 9時~12時30分

場所 岩出山中学校および周辺地区

内容 マグニチュード9.0の地震および局所的な豪雨による土砂災害を想定し、避難訓練や感染症対策を講じた避難所開設訓練、救出訓練、水防訓練の実施



#### ■緊急速報メール(エリアメール)訓練

日時 6月10日(土) 9時30分配信予定

受信エリア 市内全域

内容 ①画面に災害情報などの内容を自動表示して、専用の着信音とパイプレーションで通知②避難所開設の内容を配信

※受信メールへの返信や連絡は不要です。エリアメールの受信設定がされていない場合や未対応機種の場合は受信できません。携帯電話会社または販売店に問い合わせください。

近年は、各地に甚大な被害をもたらす地震や洪水、土砂災害などの自然災害が頻発しています。令和4年7月15日からの大雨による災害では、住家などの浸水や土砂崩れ、農作物への被害が多くあり、自然災害の脅威にさらされました。災害の危険が迫ったときは「自分は大丈夫!」などとは思わず、余裕を持って避難行動がとれるよう、日頃から準備しておきましょう。

## 避難情報を知ろう

命を守るには自分自身、適時適切な避難を

警戒レベル5 緊急安全確保	災害発生または切迫	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとらなければなりません。 ※必ず発令されるものではありません。
<b>警戒レベル4までに必ず避難しましょう</b>		
警戒レベル4 避難指示	災害の恐れ高い	指定緊急避難場所などへの避難行動を開始しなければなりません。 土砂災害などが発生する恐れが極めて高い状況です。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者等避難	災害の恐れあり	高齢者や乳幼児、障がい者など、避難に時間を要する人と、その支援者は避難行動を開始しなければならない段階です。それ以外の人は避難の準備を行い、危険を感じたら自主的に避難する段階です。
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報 など	気象状況悪化	ハザードマップなどで避難場所、避難経路などの再確認や、避難情報の把握手段の再確認をし、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1 早期注意情報	今後気象状況悪化の恐れ	防災気象情報などの最新情報に注意して、災害への心構えを高めましょう。

※レベル1・2は気象庁が発表し、レベル3~5は市が発令します。また、各種情報は、警戒レベル1から5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。